

種々の状況に適用できるプレゼンテーション総合支援システム

6N-4 — 提示システムによるプレゼンテーションの実演 —

宮野川明宏 帆刈雅幸 前田雄次 赤池英夫 角田博保

電気通信大学 情報工学科

1 はじめに

本論文では、プレゼンテーション総合支援システム Express[1] の中で予め作成しておいた提示資料 (sheet)[3] を、設定した時間通りに様々な視覚効果を用いて、より効果的に実演するための提示システム (Presentation Player) について述べる。

2 提示システム

提示システムはシナリオ [2] に従って実演を行なう。作成されたシナリオには、ある特定の時間に表示されるべき提示資料と、その表示方法である視覚効果、そしてプレゼンテーション実演中に参照するメモなどの情報が記述されている。このシナリオを時間順に追って、提示資料を表示するのが提示システムである。

2.1 提示システムの構成

提示システムは、基本的には提示を行なう演者側に表示されるものとプレゼンテーションを見る聴衆側に表示されるものが異なっている (図1)。演者側の表示装置には提示資料の他に、スムーズに実演を行なうために必要なメモや次に表示される資料なども演者側には表示する。聴衆側には通常は提示資料のみ表示している。また、演者が提示システムを制御できるようにボタンなどのコントローラが付いている。

具体的な提示システムハードウェア構成は、演者側のコンピュータとネットワークでつながった聴衆側

A Presentation Support System Applicable to Various Circumstances
Akihiro Miyanogawa, Masayuki Hokari, Yuji Maeta, Hideo Akaike, Hiroyasu Kakuda
Department of Computer Science, The University of Electro-Communications

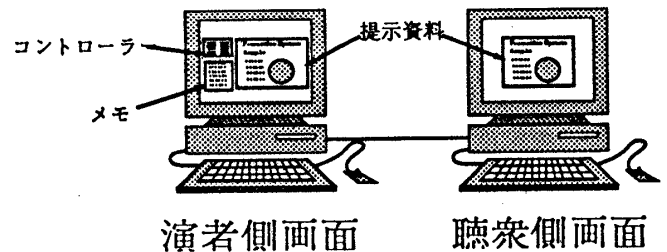


図1: 提示システムの表示内容

のコンピュータとその表示装置として投影装置を利用する (図2)。またコンピュータのネットワークを利用して、演者側のコンピュータに聴衆側の複数台のコンピュータをつないで、従来のプレゼンテーションとは異なるネットワークプレゼンテーションを行なうことも可能である (図3)。

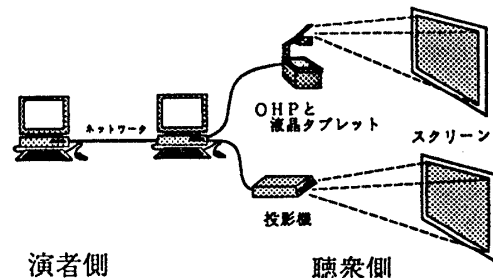


図2: 投影装置利用プレゼンテーション

2.2 提示システムの機能

プレゼンテーションの提示を支援する機能としては次のようなものが考えられる。まずは演者の提示作業をスムーズに進めるための演者支援機能。そして、より効果的に提示を行なうための視覚効果機能。最後に、ネットワークを用いてプレゼン

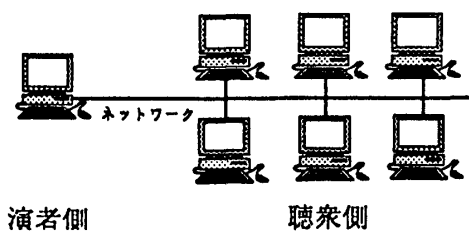


図 3: ネットワークプレゼンテーション

テーションを行なう時に、演者と聴衆の間でコミュニケーションをとるための、ネットワーク機能である。

- 演者支援機能

時間管理 残り時間などの情報を表示して時間管理を行なう

メモの表示 演者が実演中に参照するメモを対応する資料を表示

次資料表示 次に表示する資料を前もって小さく表示

- 視覚効果機能

資料切り替わり時の視覚効果 フェードインフェードアウトやスライド

手書き入力 演者のその場での手書きによる入力を表示

- ネットワーク機能

通信機能 演者と聴衆の間の意思疎通を補う通信機能

アンケート 聴衆からアンケートをとるような投票機能

3 試作システム

今回試作したシステムは、提示原本エディタと提示資料エディタによって作成されたシナリオを読み込み、その中に記述されている提示資料のデータや時間などの附属した情報を、シナリオの時系

列に沿ってさまざまな視覚効果を用いて表示していくシステムである。

演者側の画面には、現在説明中の提示資料の他に既に表示された提示資料の縮小イメージや次に表示される提示資料の縮小イメージと、実演の進行を制御するコントローラが表示される。そのコントローラには、発表の総持ち時間や経過時間などの情報も表示される。また、メモのついた提示資料には、そのメモも随時表示される。聴衆側の画面には、基本的には現在説明している提示資料が表示されている。しかし、ネットワークを用いてプレゼンテーションを行なう場合は、テキストベースの簡単な通信機能を持ったネットワークコントローラが表示され、それにより簡単なアンケートを取ったり、演者と聴衆の間で会話をしたりすることができる。

本システムは、開発言語に g++ を使用し、X11 上のユーザインタフェース構築ツールとして InterViews3.1 を用いた。

4 おわりに

今回試作した提示システムは特定の環境のみの対応なので、さらに様々な環境で使用できるように開発を進める予定である。その後、実際にシステムを利用して、より使いやすいシステムへと改良を行なう。

参考文献

- [1] 赤池英夫、前田雄次、角田博保：「種々の状況に適用できるプレゼンテーション総合支援システム-概要-」, 情報処理学会 第 52 回全国大会, 6N-1(1996)
- [2] 前田雄次、赤池英夫、角田博保：「種々の状況に適用できるプレゼンテーション総合支援システム-提示原本エディタによる提示原本作成とシナリオの生成-」, 情報処理学会 第 52 回全国大会, 6N-2(1996)
- [3] 梶田寛、前田雄次、赤池英夫、角田博保：「種々の状況に適用できるプレゼンテーション総合支援システム-提示資料エディタによる提示資料作成-」, 情報処理学会 第 52 回全国大会, 6N-3(1996)